

令和元年度 自己評価報告書 (評価編)

評価対象期間 自：平成30年4月 1日
至：平成31年3月31日

評価基準日 令和 元年5月 1日

令和元年7月



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

目 次

教育重点項目 1	1
教育重点項目 2	2
教育重点項目 3	3
1. 教育理念・目的・育成人材像等	4
2. 学校運営	5
3. 教育活動	6
4. 学修成果	8
5. 学生支援	9
6. 教育環境	10
7. 学生の募集と受入れ	11
8. 財務	12
9. 法令の遵守	13
10. 社会貢献	14
11. 国際交流	15

教育重点項目 1 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		4	3	2	1	0
重点-1	NEXT10（日本電子専門学校のさらなる伸張）の確実な実施	4	③	2	1	0

①課題

- 1) 平成 30 年度中に完成予定であった 5 学科のポリシーが未完に終わった。(完成度 80%)
- 3) 夜間部活性化の検討が未着手となった。

②今後の改善方法

- 1) 令和元年度にまたいで作業を継続して完成させる。さらに令和 3 年度入学者向けのカリキュラム作成に反映させる。
- 3) 夜間部活性化の検討について、令和元年度における重点項目では取り上げない。

③特記事項

教育重点項目 2 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
重点-2	教育力の向上	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

教育重点項目 3 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
重点-3	職業実践専門課程への対応	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

1. 教育理念・目的・育成人材像等 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1	0
1-2	学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1	0
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1	0
1-4	学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1	0
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

2. 学校運営 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
2-6	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	0
2-7	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1	0
2-8	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4	③	2	1	0
2-9	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1	0
2-10	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1	0
2-11	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1	0
2-12	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1	0
2-13	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1	0

①課題

2-8 準学校法人から大学法人の移行に伴って、大学法人として制定が義務付けられている規則等の整備を行わなければならないこと。

②今後の改善方法

2-8 令和元年6月に制定を予定している

③特記事項

3. 教育活動 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		4	3	2	1	0
3-14	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1	0
3-15	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	0
3-16	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1	0
3-17	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1	0
3-18	関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行なわれているか	④	3	2	1	0
3-19	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1	0
3-20	授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1	0
3-21	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	0
3-22	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	0
3-23	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	②	1	0
3-24	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1	0
3-25	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1	0
3-26	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか	④	3	2	1	0
3-27	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1	0

①課題

- 3-14 基本理念体系をまとめる要素の一つとして、教育に付随する三つのポリシーの策定を進めているが、平成30年度までに全25学科のうち9学科のみの策定に留まっている。
- 3-16 カリキュラムポリシーに基づいた、体系的なカリキュラム編成の構築を進めている途中のため、より充実した内容にするための検討を継続していく必要がある。
- 3-23 質保証の観点から掲げた資格取得の指導体制では、教員の意識改革を含めて改善が必要な状況であり、目標とするレベル以上の資格を学生全員が取得するという目標は達成できていない。
- 3-24 人事部が中心となり教員採用活動を行っているが、増加している学生数に対して、十分な専任教員を確保できていない。

②今後の改善方法

- 3-14 本校の『教育に付随する三つのポリシーの策定のためのガイドライン』に則り、各学科のポリシー策定を計画的に進めていく。令和元年度は、新たに5学科のポリシーを策定する計画である。
- 3-16 各学科のカリキュラムポリシーの策定に合わせて、体系的なカリキュラムへの見直しを計画的に進める。既にポリシーが策定された学科については、ポリシーに基づいたカリキュラムへと更新する。
- 3-23 目標資格を取得させる指導体制を確立するため、目標達成状況の向上が見受けられない学科を重点的に、各教員の意識改革および具体的な指導方法の見直しを図る。また、上位資格取得への対応についても、指導体制およびカリキュラムの見直しを図る。
- 3-24 人事部と教育部署が連携し、組織的な人材育成および学生の在籍人数に見合った計画的な専任教員の確保に取り組む。

③特記事項

4. 学習成果 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
4-28	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	0
4-29	資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1	0
4-30	退学率の低減が図られているか	4	③	2	1	0
4-31	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1	0
4-32	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1	0

①課題

- 4-29 学科ごとに定めた全員が最低限取得する資格の合格率は 100%を目指している。全ての学科では達成できなかった。更なる向上に努めなければならない。
- 4-30 退学率は全体として 0.07p の増加であった。しかし、主に取り組んでいる学習を理由とした退学率は 3.89%で昨年度より 0.47p 低減となった。目標としている 3.0%には 0.89p およばなかった。

②今後の改善方法

- 4-29 特にクリエイター養成学科において資格取得に向けた学生の動機づけが必要である。同時に、合格に向けた受験対策にも注力する必要がある。
- 4-30 様々な取り組みの複合的・総合的な結果から、主に取り組んでいる学習を理由とした退学率を低減させることができた。しかし、明確な低減理由を見いだせたわけではないため、クラス担任とキャリアセンター（キャリアサポーター）が情報を共有しながら、継続的に予防対策や早期に対応する取り組みを通じ、退学率の低減に努める。開発した担任が行う在籍管理ガイドラインの実施状況の確認や、授業アンケート結果等から具体策を見つける。

③特記事項

5. 学生支援 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
5-33	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
5-34	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1	0
5-35	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
5-36	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1	0
5-37	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
5-38	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1	0
5-39	保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1	0
5-40	卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1	0
5-41	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1	0
5-42	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

6. 教育環境 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
6-43	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1	0
6-44	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1	0
6-45	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

7. 学生の募集と受入れ 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		4	3	2	1	0
7-46	学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1	0
7-47	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1	0
7-48	学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1	0

①課題

7-46 一部の学科において10月中に本校の想定以上の入学希望者が集まり、指定校推薦制度の入学希望者について一時的に受け付けが出来ない状況が発生した。

②今後の改善方法

7-46 過去5年間の全学科の指定校推薦、公募推薦、一般受験の人数と増加率等を再度確認・検証し、各々の受験方法に対応した、各学科の受け入れ人数を十分確保出来る様、改めて定めた。

③特記事項

8. 財務 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
8-49	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1	0
8-50	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1	0
8-51	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1	0
8-52	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

8-51 平成 30 年度財産目録の公認会計士監査を実施し、令和元年度から私立学校振興助成法第 14 条 3 項に準じた公認会計士監査を実施することを機関決定した。

9. 法令等の遵守 評価と今後の改善方法 教育重点項目

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
9-53	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	0
9-54	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1	0
9-55	自己評価の実施と問題点の改善を行なっているか	④	3	2	1	0
9-56	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

10. 社会貢献 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
10-57	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1	0
10-58	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1	0
10-59	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

11. 国際交流 評価と今後の改善方法 教育重点項目

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
11-60	留学生の受入れ・派遣について戦略を持っているか	④	3	2	1	0
11-61	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④	3	2	1	0
11-62	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整理されているか	④	3	2	1	0
11-63	学習成果が国内外で評価される取組みを行なっているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

